

目次

—表紙絵・若松光一郎 シリーズ—

提言音楽家 ボイコ・ストヤノフ.....6

特集 1 福島県の文化 8

特集 2 新しい学校施設づくりをめざして 33

告知板教育・文化関係表彰式・ほか.....20

わかりやすい教育法令判例紹介.....24

随想25

研究実践レポート工業教理の指導と評価.....42

教育センターから教育研究法講座.....46

まちからむらからこんにちは婦人教育の現状について・いわき市教育委員会.....48

学校紹介50

生涯教育データベース情報提供事業52

博物館だより53

羅針盤定時制高等学校の35年.....54

世界の教育は、今カナダ・イギリス・デンマーク.....55

表紙絵について

「翔」

若松光一郎 作

コラージュによる作者の一群の作品に対して、平安朝以来の和紙による料紙装飾の美感を指摘する評も多い。

平安朝の装飾料紙は、和紙を破り、継ぎ、金銀で加飾し、また、染めや彩色・墨流しなどの技法をも併用した豊富な美感に富み、一方では抽象的な構成による機智にも溢れており、その伝統は今日の美術にも伏流として受け継がれている。

作者がこれをどう見るか、無論、安易には憶断し得ず、また、その仕事が多なる装飾美の創出にあるものでないことも明瞭である。

ただし、作者が暗黙のうちにこれと鋭く切り結んでいることは確かであろう。それが、或る時期の作者に非常な緊張を強いたことを、「渙」「爽」「翔」「譚」「蝕」などという、身じろぎもしない漢字一文

字のタイトルが示しているのである。
（キャンバス・和紙・カゼインカラー・墨・他、
一一九・五×一一一・二cm、一九六九年作、第
三十三回新制作展出品、福島県立美術館蔵）

